

## 覚 書

一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会（以下「OBP協議会」という。）と大阪府東警察署は、大阪ビジネスパーク地区（大阪市中心区城見1丁目の全域及び大阪市中心区城見2丁目の全域を範囲とするエリアをいい、以下「OBP地区」という。）における歩行者の安全等に資するためOBP地区において、OBP協議会の地権者がOBP地区内に所有又は管理する私有地に設置する「スケートボード等の遊戯行為を禁止する表示物」に係る表示内容等について次のとおり相互に確認する。

### （目的）

第1条 この覚書は、OBP協議会と大阪府東警察署が緊密な相互連携により推進するOBP地区における安心安全を図る活動の一環として、スケートボード等の遊戯行為を抑止することにより、歩行者等の安心安全を図るとともに、地権者企業が保有又は管理する物件の損傷や汚損等を防止することを目的とする。

### （表示物）

#### 第2条

- （1） 地権者が、「スケートボード等の遊戯行為を禁止する」表示物を設置する（以下「設置者」という。）場合は、その設置者がその責任下で設置管理する。
- （2） 表示物の表示内容は、第1条の目的のため、下記のアからウの3項目の内容を基本とし、設置者は、歩行者等の一般人が容易に理解できるように表記するよう努めることとする。
  - ア スケートボード等の遊戯行為の禁止に関する事項
  - イ 遊戯行為により地権者企業が保有管理する物件に損害（損壊行為等）を生じさせた場合の損害賠償請求に関する事項
  - ウ 設置者、OBP協議会、大阪府東警察署の表記
- （3） 前項の規定は、設置者は、アからウのすべての項目を表記する義務を負うものではなく、本覚書が「スケートボード等の遊戯行為を禁止する表示物」に係る表示内容について相互確認であるという趣旨に基づいて、設置者は必要な内容を適切に表記するものとする。

### （内容の変更等）

第3条 OBP協議会と大阪府東警察署のいずれかが、覚書の内容の変更を申し出たとき

はその都度協議の上、必要な変更を行うものとする。疑義が生じた場合も同様にＯＢＰ協議会と大阪府東警察署が協議の上、これを定めるものとする。

(関係書類の閲覧等)

#### 第4条

- (1) ＯＢＰ協議会は、本覚書を締結することについて、ＯＢＰ協議会における所定の意思決定を行い、当該意思決定に関する書類を本覚書とともに保有するものとする。
- (2) 大阪府東警察署が、前項の書類について、閲覧又は複製の提供を求めた場合はＯＢＰ協議会はこれに応じるものとする。

この覚書を相互に確認するため、本書2通を作成し、ＯＢＰ協議会と大阪府東警察署それぞれ記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

令和4年9月××日

〒540-6131

大阪市中央区城見2丁目1番61号

ツイン21MIDタワー31階

一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会

代表理事

田ノ畑 好幸

〒541-0053

大阪市中央区本町1丁目3番18号

大阪府東警察署

署長

和田 芳樹